

令和2年度平群町介護保険運営協議会並びに地域包括支援センター運営協議会(第2回)	
<p>■日時 令和3年(2021年)2月9日(火曜日) 午後2時40分～</p> <p>■場所 平群町商工会館 2階 大研修室</p> <p>■出席者 松田美智子会長、福田副会長、泉谷委員、井戸委員、稲月委員、岡委員、中田委員、新名委員(8名)</p> <p>■欠席者 中谷委員</p>	
1. 開会	
事務局 (西岡課長)	只今から、令和2年度第2回平群町介護保険運営協議会並びに地域包括支援センター運営協議会を始めさせていただきます。それでは、開会にあたりまして、松田会長からご挨拶を申し上げます。松田会長、宜しくお願い致します。
2. 挨拶	
松田会長	今回は、各事業における令和2年度の状況等についての報告となっております。策定委員会に引き続きの会議でお疲れのことと思いますが、よろしく申し上げます。
事務局 (西岡課長)	有難うございました。それでは、早速、議事に移りたいと思います。議事進行について、松田会長、宜しくお願い致します。
3. 平群町介護保険事業等の状況について	
松田会長	それでは、本日の議事に入ります。まず初めに、『介護保険運営協議会』から始めたいと思います。「3. 平群町介護保険事業等の状況について」、事務局より説明をお願いします。
事務局 (今村)	福祉こども課の今村です。資料1について説明致します。 － 平群町介護保険事業等の状況について説明 － 資料1
松田会長	有難うございました。只今、事務局より説明がありましたが、何かご質問やご意見等はございませんか。質問等がないようですので、次に、「4. 平群町地域支援事業について」事務局より説明をお願いします。
4. 平群町地域支援事業について	
事務局 (神谷)	福祉こども課の神谷です。資料2について説明致します。 － 平群町地域支援事業について説明 － 資料2
松田会長	有難うございました。只今、事務局より説明がありましたが、何かご質問やご意見等はございませんか。
新名委員	一般介護予防事業のところ、コロナによって開催できなかったことはたくさんあると思いますが、令和3年度はコロナと共存していく中で、こういった事業を現在考えておられるのかなと思うんです。というのも、コロナによってお家の中で過ごされることが多くなって、認知症が進んでいったりとか、気分が落ちていかれている方が非常に多いという報告も聞いておりますので、平群町としてはどうされるのかお聞きしたいです。
事務局 (岡田主幹)	コロナ禍で、サポーター養成講座等もなかなかできないような状況です。直近でしたら、平群町でも毎日感染者が出ているような状況ですので、こういった対応をすればいいのか、地域包括支援センター等と協議しながら、考えています。実際、今手探りでやっている状態

	<p>ですので、計画につきましては、令和2年度の計画を引き継ぐ形で立てていますが、その中で、コロナ禍でもできることをまずしていただこうと考えています。例で言いましたら、タオル体操や自宅でできる体操のチラシを作成して、高齢者や各団体の方に配布したりしています。令和3年度につきましては、感染予防の対策をしながら、検討してやっていきたいと考えています。</p>
井戸委員	<p>中身ではなくやり方の話になるのですが、事前に渡された資料をざっと読んでいるわけですが、時間的にもそうですし、コロナ禍にもなりますし、ある程度端折って読んだ方が委員の皆様も良いのではと。ここは協議の場であって、研修会ではないので、全部読む必要はないのではと思いました。それより、その時間を協議の時間に充てれば良いと思ったので、申し上げておきます。それと1点だけですが、1番最初に百歳体操で令和2年度に15か所あるということでしたが、実際の実施はどんな感じなのでしょう。私としては、語弊があるかもしれないですが、年配の方ほど、案外コロナ感染のリスクを気にしないですよ。うちの母も含めてですが、私の周りを見ていまして、あちこちの総会を中止している中で、お食事会をしようかという話が出ていたりしています。その中で、百歳体操自体は良いことなんですけど、この状況において、ましてそれぞれの自治会館って狭いですよね。そこにぎゅっと人が集まる、というのはそもそも良いのだろうかというのがあります。普及啓発というのは分かるのですが、まず状況を把握されているのか。実際のところ、残念ながらいいですか、自治会の役員会もそうですが、専門家ではないのでコロナ対策はやっているつもりでも、正直あまりできていないんですよ。議会ですら密ですので。私の中では百歳体操に期待している部分もありますので、そこも含めて、現状どうなっているのか教えてください。</p>
松田会長	<p>説明の方はまた工夫をお願い致しますということで、百歳体操の具体的な開催の状況についてお願いします。</p>
事務局 (今村所長)	<p>地域包括支援センターの今村です。へぐりいきいき百歳体操ですが、緊急事態宣言が出ました当初、こちらの方から自粛の願いをしまして、ほとんどのいきいき百歳体操の方はお休みをされました。7月頃から落ち着いていたという状況もありますし、やはり何かしら体を動かしていただきたいということもありまして、自粛の願いはせず、それぞれの団体にお任せさせていただいたところ、ほとんどのところがまた開催を始められました。ただ、再開にあたりまして、消毒薬を各団体に1個ずつお渡しし、注意事項をまとめましたチラシもお渡しして、口頭でも気を付けていただくようにご説明もさせていただきました。特に、人数が多いところにつきましては、密になるのを避けるために2部制にされたり、地域によってはそれほど人数も集まっていないので、椅子と椅子との間隔をとってするなど、それぞれの団体で工夫をされ、相談があればのりながら、実施してもらっているような状況です。ただ、また今回、第3波ということで、コロナ感染者の方が増えている状況もありまして、お休みされているところも何か所か出てきている状況です。</p>
井戸委員	<p>私が一番危険だと思うのは、それぞれに任せるというパターンです。私自身も強く言っているのですが、本当に私の周りにもいっぱいいます。実際、ソーシャルディスタンスって何mなのか、案外分かっていない人が多いです。それで日本ってなぜか狭いんですよ。問題としては、保健所自身が今パンクしかけていて、実際 PCR 検査できていません。福祉こども課</p>

	<p>でしたらご存知かと思いますが、濃厚接触者の追跡もやめましたよね。陽性者が全国で減っているのも、濃厚接触者をほとんど追わないので、一緒にいても、密になってもマスクをしていたら濃厚接触者と認定しないというところまで下げています。事実上、自己管理になってくるのですが、残念ながら、私が見る限りでは、長寿会の会長さんもいらっしゃいますけども、長寿会でも、これはという集まりも結構平気でされています。クラブもそうですが、マスクを外してされている方もおられます。これは平群町だけの問題ではないですが、百歳体操についても、積極的に行政の方から何かしらの基準を示した方が良いのではないかと思います。ここからは、私の意見ですけども、情報提供も分かるんですが、実際の窓を開けているかどうかとか、悲しい話ですが場所によっては危ないところで窓を開けていなかったりするんですよ。具体的な例は避けますが、小さなお子さんが集まる場所であるとか、そういうところでもそういうことが起きているので、ある程度の見張りといえますか、チェックというのはこれから必要になってくるのではないかと思います。特に緊急事態宣言が周りでもどんどん出ていますし、年配の方は重症化しやすいということですから。調べないんですから、平群でももう陽性者はたくさんおられると思います。そういう意味でも気をつけていただかないと、なったら一発アウトというのが一番怖いと思っていますので、これはお願いなんですけど、ちゃんと密になっていないかどうかをある程度確認する人が必要ではないかと思っています。</p>
松田会長	<p>一度、その注意書きの内容なんかも、分かりづらい点とかを協議してみるのも良いのではないのでしょうか。実際やっているかどうかを監督に行くまではなかなか大変かと思っています。誰がするかなどの話もありますし、受け取る側として逆にそういうことを良く思わない、なんてそんな監視されないといけないのかということもありますよね。ご要望として、記録に残していただきたいと思っています。他に何かありますか。</p>
福田副会長	<p>私は、初香台に住んでおります。初香台でも百歳体操はやっておりますが、結構、担当の人たちがうるさいんですよ。消毒しろ、窓開けろ、そういったことをきっちりやっています。ただ、百歳体操に出てくる人っていうのは、やはり体調の良い人しか出てきません。本当にしんどい人や、病気を気にする人は出てこないです。</p>
井戸委員	<p>それが怖いんです。</p>
松田会長	<p>高齢者でも、無症状の感染者がいますからね。</p>
福田副会長	<p>ただ、出てくるからやる。家に引っ込んでいると、一切何もやらずに、ぼーっとテレビを見ているだけです。高齢者の場合は、一週間筋肉を使わなければ、筋力がたっと落ちます。私も高齢者なので、自分でも体験して良く分かっていますが、一週間何もしなければ、筋力っていうのはものすごく落ちますよ。歩けなくなるぐらいです。</p>
松田会長	<p>何か対策が必要ですよ。</p>
福田副会長	<p>だから、そういう面でいうと、フレイルを重視するか、コロナの感染防止を重視するか、どっちかという感じになりますよね。そのところは、是非とも皆様方、若い方には考えていただきたいなと思います。高齢者の意見として出させていただきました。</p>
松田会長	<p>ありがとうございます。ちょっと発言して良いですか。確かに、今おっしゃっているようなことはとても問題になっていて、この生活支援体制整備事業の第2層の協議体は、今できな</p>

	<p>いですし、全然進行していないでしょう。日本老年社会科学会という学会があって、私はその会員なんですけれども、今日、ここに来る時にその学術誌を読んでいたら、コロナ禍の調査をやっていました。おっしゃるように、2月くらいからピタッと止まって、ずっと家にいたらテレビのお守りをしていただけという人が増えていて、体だけじゃなくて心も、気分低下して、良くなった人はあまりいないです。一か八かみたいなリスクをおかして集まるというのは、賢明な策だとは思いません。聞き取り調査とかの結果を見ていたら、結構、高齢者でもパソコンを使ったり、iPadを使ったりされている方がいて、ふれあいサロンとかカフェなんかも、リモート使ってやっています。お年寄りでも ICT 環境があれば、Zoom が使えるように誰かがサポートして、それこそ第2層の協議体活動に繋げていくような知恵を絞って、どこかに集まる旧来型のようにしなくても、自分の家でも一人でやったらなかなか続かないけど、画面であっても繋がって相手の状況が分かって話もできるわけですよ。そうすると、そういう取組をやっているところでは、良い結果が出ています。この学会は、そういうことを社会科学的にやるところなんですけれども、それが出ていますので、令和3年度に向けて、そういうことを考えていくということと、これは私からの提案なんですけれども、もう終わってしまったんですけれども、次の第9期の介護保険事業計画の策定時に、また調査しますよね。その時に、ICT 環境の質問項目を入れたらどうでしょう。インターネットを使っているかどうかや、100歳とかだと少ないかもしれないけれども、80代くらいまでだとかかなり増えているのではないのでしょうか。私は恥ずかしながら、Amazon でのお買い物も全くしたことがない人なんです。クレジットカードの情報を入れるのが怖い人なのですが、私の周りでは Amazon は便利だと言って iPad をサクサク使っている80代がいっぱいいて、いつも笑われるんですよ。なので、そういうことも把握しておく、百歳体操だけでなく、他のことについてもどう周知するかとか、どう連絡することが有効か、などにも使えると思うので、そういう項目を次はぜひ入れてみてはどうでしょうか。コロナ COVID-19が収まっても、また次違うのがきますよ。その時のためにも、ご提案したいなと思います。すみません、喋りすぎました。他、ありますか。</p>
<p>新名委員</p>	<p>百歳体操の開催のお話の中で、私は実際、現場で見させていただいたり、集まる場所で講師をさせていただいたりしているんですけれども、地域包括支援センターでは、ある程度クールが終わったら、自主グループという形で皆さんにお渡しするじゃないですか。そうしてしまうと、リーダーさんには一応説明はするんだけど、ちゃんとご理解をさせていただけておらず、体操する時はソーシャルディスタンスとるんだけど、休憩時間になると密になって喋ったりとか、帰るときも団体で喋りながら帰っているとか、やはり危機感はあまり見られないです。それを包括にお話して指導してくださいと言っても、いやもう手離れたので私たちには関係ないという感じで言われたりするところもあります。一応、指導者の方には話はするけれども、現場に行くとやかく言わないとか、最後まで管理しないというところが、平群町がどうかは分かりませんが、実際あったりします。自分が講師をする時とかは、帰るところまで責任があるので、喋らないで皆さん帰りましょうね、と言わせてもらったりとか、換気の時間とかもきっちり計ってさせていただいたりとかしています。グループで頑張ってくださいというところは、なあなあ感が出ているところがあるかなと感じ取れます。</p>

	<p>先程チラシの配布のお話がありましたが、高齢の方ってなかなか一人で自宅ですというの難しいところですし、ITのお話も出ましたが、ITが出来る人は比較的元気な人ですよ。フレイルの方は、体も動けないですが、心の方が落ち込んでしまっていて、自発的に何かというのはなかなかできなくなってくるので、すぐには出てこないと思いますが、何かしらの対策というのは考えてほしいなと思います。せっかく、平群町は高齢化率は高いけど、サービスを使っている人が少ないというのは、非常に喜ばしいことだと思いますので、お話をさせていただきました。</p>
松田会長	<p>ご要望というか、令和3年度の事業内容に向けてのご意見ということでよろしいでしょうか。他、いかがでしょうか。</p>
井戸委員	<p>インターネットの関係ですが、おっしゃるように、80歳を超えるときつかなと。例えば、携帯電話持っている方だと、内面的な心の拠り所としてはテレビ電話の方がやりやすいのかなと思います。パソコンをたちあげて、というのは結構難しいラインかと思うんです。できる方はやっていただいて、それ以外のパターンとして一つ、ゲームもありますよね。例えば、Nintendo Switch、皆さん名前ぐらいはご存知だと思うんですが、あれのエクササイズあるとか、テレビに映したら出てきて飛んできてっていうファミトレなんか、今ものすごく売れているんですよ。若い人も買うっていうのはあるんですけど、ゲームをしながら運動しなくちゃいけないの、と宣伝もしていますが、あらゆるところで売り切れ続出という状況です。ですから、運動は1つではないので、介護予防という意味では、お家でひとりの時でも運動できるようなパターン、今出たやつ全部足して、ネット使える方はそれもありですし、DVDやビデオもありますよね。そういうふう選択肢を増やしていくのもありかなと思いましたので、提案しておきます。</p>
松田会長	<p>ありがとうございました。続きまして、『地域包括支援センター運営協議会』に移りたいと思います。</p>
<p>5. 平群町地域包括支援センターの運営状況について</p>	
松田会長	<p>初めに、「5. 平群町地域包括支援センターの運営状況について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (今村所長)	<p>地域包括支援センター今村です。資料3について説明致します。</p> <p style="text-align: center;">－ 地域包括支援センター運営状況について説明 － 資料3</p>
松田会長	<p>有難うございました。新たなタオル体操なんかもしていただいているという報告でしたが、只今のご報告に対して、何かご質問やご意見等はございませんか。</p>
新名委員	<p>フレイルの関係ですが、要支援1・2の認定を受けておられる方の中で、住宅環境をきっちり改善というか見直ししたりとか、介護保険で借りられる福祉用具をちょっと工夫すると、在宅で安心して生活できる方は、要支援1・2だと結構おられるんですね。体操とか認知症関係の講座などは結構いろいろ発信されていると思うんですが、そういった住宅改修であったり、福祉用具の適切な選び方などをちょっとしたアドバイスをするだけでも、支援なくても良いのではないかという方も結構いらっしゃると思いますので、できたらそういったことも取組に入れていただけたらと思います。特に平群町って結構お家の中が危ないところが多く</p>

	て、それによって介護保険を申請しないといけなくなっていたり、重度化している方がいらっしやると思いますので、一度検討していただけたらと思います。
松田会長	逆に、安全意識を高めるような取組をしてあげても、それがフレイル予防につながったりもしますよね。
稲月委員	前回の時に、地域包括支援センターの認知度が低いとおっしゃっていたので、看板を何か工夫できないかと提案したと思うんです。だいたい「地域包括支援センター」という言葉が住民さんの中から出てくるようにはなっています。介護を受けたい時には、あそこに行ったら良いんだということは、7年の間で随分認知されてきたと思います。しかしまだ、そこで何がされているのか分かりにくいところがあります。大きな看板が立っていますが、その横に、お年寄りのことは何でもここに相談してくださいとか、何か一言説明書きのようなものが欲しいかなと思います。スペースがあるので、そういうのを立てたり、窓に大きく貼るとかしてもらった、もっと皆さんが、こういう時にはここに来たらいいんだとお分かりになるのではないかなと思いますので、前に進めていただけたら有難いです。
松田会長	ご提案ということですのでよろしいですね。私はそれに加えて、地域包括支援センターは大変だと思いますが、地域包括支援センターが対象としているのは、高齢者だけではないんですね。そういうことも含めて啓発していった方が良いでしょうと思います。他、いかがですか。それでは、最後に、「6.その他」について、折角の機会ですので、本日の議事のほかに、何かご質問や聞いておきたいことはございませんか。
6.その他	
松田会長	ないようですので、本日の議事は全て終了とさせていただきます。進行を事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございました。
7.閉会	
事務局 (西岡課長)	松田会長、議事進行ありがとうございました。委員の皆さん、長時間にわたり、慎重にご審議いただき有難うございました。本日いただきました貴重なご意見等につきましては、今後の取組の参考にさせて頂きたいと思っております。なお、委員の皆様につきましては、平成30年7月から任期3年間となっております。任期期間中の会議につきましては、本日の会議をもちましてすべて終了となります。3年間ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、令和2年度第2回平群町介護保険運営協議会並びに地域包括支援センター運営協議会を終了させていただきます。本日は、どうも有難うございました。

閉会 午後4時